

[畜産部門 令和8年度 普及に移す研究成果]

事項名	オーチャードグラスの奨励品種「わせじまん（東北8号0G）」の特性		
ねらい	本県に適するオーチャードグラスの品種（早生）を選定するため、公的育成品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「わせじまん（東北8号0G）」が既存の奨励品種と比較して、耐病性は同等で収量性がやや優れることが明らかになったので、奨励品種として普及に移す。		
内容	<p>1 来歴 「わせじまん（東北8号0G）」は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と雪印種苗株式会社が共同で育成した品種である。種子は令和8年秋販売予定である。</p> <p>2 主な特性（標準品種「はるねみどり」との比較）</p> <p>(1) 発芽の良否：同程度である。 (2) 定着時草勢：同程度である。 (3) 越冬性：同程度である。 (4) 早春の草勢：同程度である。 (5) 出穂始期：1日早い。 (6) 越夏性：同程度である。 (7) 秋の被度：同程度である。 (8) 病害程度：同程度である。 (9) 倒伏の発生：やや多い。 (10) 収量性：やや優れる。 (11) 早晩性：早生品種である。</p>		
期待される効果	粗飼料の安定生産に資する。		
普及上の注意事項	なし		
問合せ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域 及び経営体	県内全域の養牛 農家等
発表文献等	なし		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「わせじまん（東北8号0G）」の生育特性（平成28～令和元年 青森畜産研）

形質	選定品種	標準品種	備考 (評点法等)
	わせじまん	はるねみどり	
発芽の良否	6.0	6.0	1(極不良)～9(極良)
定着時の草勢	5.9	5.8	〃
越冬性	6.9	6.8	〃
早春の草勢	6.9	6.5	〃
出穂始期	5月19日	5月20日	
越冬性	5.6	5.9	1(極不良)～9(極良)
秋の草勢	5.6	5.5	〃
秋の被度	69	68	%
草丈(1番草)	105	100	cm
草丈(2番草)	97	95	〃
草丈(3番草)	92	93	〃
草丈(4番草)	60	58	
倒伏程度	3.4	2.3	1(無・微減)～9(甚)
病害程度	2.4	2.9	〃

- (注) 1 発芽の良否及び定着時草勢は平成28年秋の調査。
 2 秋の被度は令和元年の値。
 3 1及び2以外の形質は平成29年～令和元年の3か年平均。

表2 利用年次別の乾物収量(kg/10a)（平成29～令和元年 青森畜産研）

品種・系統名	利用1年目(平成29年)					利用2年目(平成30年)				利用3年目(平成31年)				3か年平均 年間計
	1番草	2番草	3番草	4番草	年間計	1番草	2番草	3番草	年間計	1番草	2番草	3番草	年間計	
わせじまん	421	274	141	163	999(101)	633	319	262	1,214(106)	396	298	338	1,033(105)	1,082(104)
はるねみどり(標)	435	266	140	151	990(100)	598	304	246	1,148(100)	367	288	330	985(100)	1,041(100)

- (注) () 内数字は標準品種を100とした指数。

耕種概要

- 試験場所 畜産研究所内圃場
- 播種期、播種方法及び播種量 平成28年9月16日、散播、3.6kg/10a
- 施肥量

- (1) 土壌改良資材及び基肥(10a当たり)
 苦土炭カル：pH6.5 矯正量(改良深度15cm)
 ようりん：20%ようりん 125kg
 基肥：N-P₂O₅-K₂O=5-5-5kg

- (2) 追肥量(kg/10a)

区分	利用1年目			利用2年目以降		
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
早春	7.5	5.0	5.0	10.0	7.5	7.5
1番草刈取後	4.5	3.0	3.0	6.0	4.5	4.5
2番草刈取後	3.0	2.0	2.0	4.0	3.0	3.0
年間計	15.0	10.0	10.0	20.0	15.0	15.0

- 刈取期 1番草：標準品種の出穂期
 再生草：標準品種の草丈が90cmで一斉刈り